

2017度から引き続き継続して実施する士会における認知症活動

2017年度協会のモデル事業として実施した「兵庫県認知症臨床作業療法士育成研修会」事業を今年度も規模を縮小（昨年度と同じ内容の研修会を回数減らし）して実施。

- ステップⅠ：認知症を理解する
（日本作業療法士協会推奨アップデート研修 修了書発行）
1. 世界および日本における作業療法の課題
 2. 認知症の障害の本質と認知症原因疾患への理解
 3. 行動・心理症状(BPSD)の原因・背景および障害構造の理解
 4. 認知症作業療法におけるアセスメントとマネジメント
 5. 事例演習
 6. GP(事例報告)のオリエンテーション

- ステップⅡ：認知症に対する作業療法の臨床を深める
1. 特別講演：認知症の早期発見・早期治療
～作業療法士に期待すること～
 2. 生活支援の実際
 - ①医療保険領域における認知症アプローチの実際と課題
 - ②介護保険領域における認知症アプローチの実際と課題
 3. 社会資源および地域支援領域における対応の実際と課題
 - ①若年性認知症施策
 - ②認知症初期集中支援
 - ③認知症カフェ
 4. 認知症予防への取り組み
 5. 事例報告、検討会、グループワーク
 6. フィールドワークのオリエンテーション

- ステップⅢ：社会全体で認知症を支える
1. 家族の理解と支援
 2. 地域支援実践報告
情報交換
 3. 全体討論
- * 修了書 交付式

研修日時
 ステップⅠ：8月12日
 ステップⅡ：9月22日・23日
 ステップⅢ：1月27日

今年度士会として新たに行う認知症活動

2018年度認知症対策委員会としての新たな活動として「HOTカフェ+オレンジ運動会」を実施。

- ・ 認知症の人とその家族、地域住民の方々とスポーツを通じて交流する場を作る。
- ・ 県民の認知症への理解の促進を図るため、認知症関連の書籍の紹介、協会が作成した「二本の傘」の上映等、参加いただいた方々とふれあい、交流を深めることが出来る場を作る。
- * 兵庫県認知症の人と家族の会の代表者に依頼し、本活動に後援を受けた。

認知症カフェ事業

県内436か所で認知症カフェ開催。（全国一の数）
数か所で作業療法士が関与。

★2017年度ステップⅢまでの修了者124名中43名が認知症カフェでのフィールドワークを体験

一般社団法人 兵庫県作業療法士会

HOTカフェ&オレンジ運動会

日時：2018.11.4(日)
12:30 ▶ 15:30

場所：こうべ市民福祉交流センター内
神戸市立市民福祉スポーツセンター 6F
HOTカフェ5F

参加：どなたでも参加できます
参加費無料

認知症の人やその支援者のみなさんと秋の一時を体を動かしたり、ゆっくりお茶を飲んで過ごしませんか？
事前の申し込みは不要、どの時間からでも参加できます！

- ストレッチ & リラックス体操
- 卓球 ●風船バレーボール
- オリジナル レクリエーションなど

他にも体にやさしい軽い運動で秋のスポーツを応援します！

ふるってご参加ください！

主催：一般社団法人 兵庫県作業療法士会 認知症対策委員会
後援：公益社団法人 認知症の人と家族の会 兵庫県支部

今後の展開

- * 兵庫県作業療法士会における特設委員会「認知症対策委員会」の今後の動き等の検討
- * 士会教育部との連携
- ・ 認知症アップデート研修（認知症臨床作業療法士育成研修会：ステップⅠ）の実施方法の検討
- * 地域ケア推進委員会との連携
- ・ 地域で作業療法士が活躍できるよう情報共有および支援体制の強化

一人ひとりの暮らしから地域を丸ごと支援します
私たち作業療法士ができること

長期的視点を通じた生活課題の改善と支援
医療現場では心身機能の改善や基本的な日常生活動作、家事・掃除などの活動と参加を促した支援を行います。通所や訪問リハビリテーションにより離れた可能性を引き出し、自宅での自立生活を継続するための支援を行います。

福祉用具の選定や環境調整の支援
その方の能力を補う福祉用具の選定や住み慣れた自宅の安全な利用のための環境調整を行います。日々の生活に合った生活環境を整え、安全を含めて暮らしの幅を広げようとする環境調整と支援を行います。

特別支援教育や子どもの発達支援
身体障害児用施設、障害児放課後デイサービスでのリハビリテーションや学校・幼稚園・保育園への訪問指導・療育支援を行います。

認知症の方ご家族などへの幅広い支援
認知症予防、認知症初期集中支援事業、若年性認知症対策などに参加します。認知機能や身体機能だけでなく、日常生活や暮らしの課題に合わせたアセスメントから環境設定など幅広い観点で支援を行います。

福祉移行や就業継続の支援
その人にとっての働きたい気持ちや大切に、状況に合わせて仕事の方法や環境を一層に考え支援します。職場スタッフの方へも働きやすい環境づくりを行います。

自分らしくいきいきと暮らす「地域づくり」の支援
地域ケア会議、住居の集いの場、介護予防教室やサロン活動など地域で暮らしの課題やニーズについての課題や相談支援場があります。地域全体を元気に活動に巻き込み、暮らしの課題や相談支援を積極的に進めます。

作業療法士(OT:Occupational Therapist)
作業療法士は、食べる、着替えるから働く、余暇、近所づきあいなど、日々の生活行為を「作業」と捉え、心身の病状やけがなどにより日常生活や大事な作業がしづらくなった方々を支援します。見落としがちな大切にしていない作業や暮らしの中の課題に気づき、生活がもたらした生活や社会参加することを目指します。
「その人らしい生活」を日々の暮らしの中に見出すこと、それが私たち作業療法士が目指していることです。 継続・改善する3つの能力

社会的適応能力
応用的動作能力
基本的動作能力
意図的動作能力